

千織語文法

千織語とは

千織語(ちおりご)は、想像地図の世界観をよりリアルなものとするために構想された言語である。

これまでの想像地図で、「異世界なのに日本語が通じるのはご都合主義的である」という旨の批判を受けたことがある。そこで、日本語のような表意文字・表音文字の両方が混在した架空言語を作る 1 つ前の段階として、中国語のような表意文字体系の架空言語を作る計画が持ち上がった。

なお、千織語が話される地域は、𐄎 [ʧioʌ] (日本名は「仟」)という国である。

架空言語について

架空言語は、「人工言語」という呼び方も存在するが、ここでは「架空言語」と呼ぶことにする。筆者は「想像地図」という架空の世界の地図を描いているが、あくまで「旅人の立場」からの描写であって、「造物主や為政者の立場」からの描写ではない。つまり、未知の場所を旅しながら、この先に広がっているのはどのような土地だろうか、と想像しながら描いているのである。

千織語も同じで、あくまでも「言語学習者の立場」からの描写であって、「神の立場」からの造語ではない。つまり、未知の言語の辞書を見ながら、この意味の単語は何だろうか、と想像しながら描写しているのである。

「架空言語」「人工言語」と言ったとき、表しているもの(概念)は同じでも、作る人の立場が違うのである。この文章では「架空言語」で統一することにする。

架空言語や架空地図には「現実改変型」(アポステリオリ型)と「完全架空型」(アプリオリ型)の 2 種類が存在する。現実改変型は、実在の言語(または地図)を改変することで作ったものである。一方、完全架空型は、実在物をベースとせずに完全にゼロから作り上げたものである。もちろん千織語は完全架空型である。

「千織語」という名称について

「千織語」という名称は、千織語での言語名である 𐄎𐄎 [ʧioʌ liʌ] という音を写し取ったものである。𐄎 [ʧioʌ] が地域の名称、𐄎 [liʌ] が「～語」という意味であるため、「千織」(ちおり)という名称だけで言語名を表していることになる。しかし、「千織」だけでは同名の他の事物が存在するため、疊語的ではあるが日本語の文脈においては「千織語」という表記が使われる。

英語表記は Txioʌ、中国語表記は千织话。

なお、𐄎𐄎 [ʧioʌ liʌ] という音に「千織」という文字を当てたのは、「幾千の表語文字を織り上げる」という創作上の特性を踏まえたものである。なお、音は重視せずに偏と旁の意味に着目して「仟語」と呼ぶ場合がある。

ちなみに、現在(第四期)の想像地図に存在する架空地名の「千織市」とは無関係である。

文字

「千織字」または「仟字」と呼ばれる表語文字(表意文字)が使われる。 下記に主な千織字を列挙する。

千織字	発音(IPA)	意味
干	[ʃonV]	人
人	[tʰakl]	山
卅	[kiJ]	細高い、 すらっとした
𠄎	[sanl]	竹
𠄎	[kətʃ]	木
☉	[ʔaɪM]	太陽
丕	[mioV]	道しるべ、標示、 目印
𠄎	[ʔəmʃ]	弓
𠄎	[penʃ]	国
□	[pʰinʃ]	紙

千織語の単語は単音節語が基本であり、原則として「1音節 = 1文字 = 1単語」である。多音節語(2字以上の熟語)がないわけではないが、それは基本的には2つ以上の概念が合わさってできた複合語である。

また、1つの仟字の読み方は原則として1通りであるため、日本語における漢字のように、1つの文字に複数の読み方があるということは原則としてない。

音韻

子音

27種類ある。左側はラテン文字転写・右側は IPA 表記である。

表 1 現代千織語の子音

転写	音価(IPA)	発音上の注意事項
p	[p]	日本語のp行の子音と同じ発音。無気音。
ph	[pʰ]	pの有気音。中国語のピンインのpと同じ発音。
f	[f]	日本語の「フ」の子音と同じ発音。「fa」は「ファ」。
m	[m]	日本語のm行の子音と同じ発音。 末子音のときは、日本語の「3発(さんぱつ)」の「ん」と同じ音。
t	[t]	日本語の「タ」「テ」「ト」の子音と同じ発音。無気音。「ti」「tu」は「ティ」「トゥ」。 末子音の時は内破音 [t̚] となり、日本語の「1頭(いっとう)」の「っ」と同じ音。
th	[tʰ]	tの有気音。中国語のピンインのtと同じ発音。英語のthの音ではない。
ts	[ts]	日本語の「ツ」の子音と同じ発音。「tsa」は「ツァ」
tsh	[tʂ]	tsの有気音。中国語のピンインのcと同じ発音。
s	[s]	日本語の「サ」「ス」「セ」「ソ」の子音と同じ発音。
n	[n]	日本語のナ行の子音と同じ発音。 末子音の時は、日本語の「3等(さんとう)」の「ん」と同じ音。
l	[l]	英語・中国語の「l」と同じ音。 なお、[l] / [r] の対立は存在しないため、日本語のラ行の子音と同じでも良い。
tx	[tʃ] or [tɕ]	日本語の「チ」の子音と同じ発音。「txa」は「チャ」。
txh	[tʃʰ] or [tɕʰ]	txの有気音。中国語のピンインのqと同じ発音。
x	[ʃ] or [ɕ]	日本語の「シ」の子音と同じ発音。「xa」は「シャ」。
tr	[t̚]	そり舌・無気音の t
trh	[tʰ̚]	そり舌・有気音の t
tš	[tʂ]	中国語ピンインの zh と同じ発音(無気音)。
tšh	[tʂʰ]	中国語ピンインの ch と同じ発音(有気音)。
š	[ʂ]	中国語ピンインの sh と同じ発音。
nr	[n̠]	そり舌の n
k	[k]	日本語のカ行の子音と同じ発音。 末子音の時は内破音 [k̚] となり、日本語の「1回(いっかい)」の「っ」と同じ音。
kh	[kʰ]	kの有気音。中国語のピンインのkと同じ発音。
h	[x] or [h]	日本語の「ハ」「ホ」の子音と同じ発音でも中国語のh音でもどちらでもよい。
^	[ŋ]	日本語のガ行鼻濁音と同じ発音。 末子音の時は、日本語の「3回(さんかい)」の「ん」と同じ音。
c	[ç]	日本語の「ヒ」の子音と同じ発音。「ca」は「ヒャ」。
ñ	[ɲ]	スペイン語の ñ と同じ発音。
	[ʔ]	母音で始まる音節の音節頭に自然に現れる。

27種類全ての子音が音節頭に現れることができるが、音節末に現れることができるのは t, k, n, ^ の4種類だけである。このうち、t, k の2つは、後続の音節の音に関わらず音節末では必ず内破音 [t̚], [k̚] になる。

子音を調音点別に整理すると、以下のようになる。

表 2 現代千織語の子音(調音点別一覧)

	破裂音		破擦音		摩擦音	鼻音	流音
	無声		無声		無声		
	無気	有気	無気	有気			
両唇音	p [p]	ph [p ^h]			f [ɸ]	m [m]	
歯茎音	t [t]	th [t ^h]	ts [ts]	tsh [tʰ]	s [s]	n [n]	l [l]
後部歯茎音			tx [ɟ]	txh [ɟ ^h]	x [ç]		
そり舌音	tr [t̪]	trh [t̪ ^h]	tš [t̪ʃ]	tšh [t̪ʰ]	š [ʃ]	nr [ŋ]	
軟口蓋音	k [k]	kh [k ^h]			h [x]	^ [ŋ]	
硬口蓋音					c [ç]	ñ [ɲ]	
声門音	[ʔ]						

母音

基本母音は 7 種類ある。

表 3 現代千織語の母音

	転写	音価(IPA)	発音上の注意事項
広・中母音	a	[a]~[a̠]~[æ]	日本語の「あ」よりも口を大きく開く。
	e	[e]	日本語の「え」とほぼ同じ。
	o	[o]~[ɔ]	日本語の「お」とほぼ同じ。
	ø	[ø]	ドイツ語・フィンランド語の ö と同じ。「お」の口の形で「え」と発音する。
狭母音	u	[u]	中国語の u と同じ。口を丸く尖らせて「う」と発音する。
	y	[y]	ドイツ語・中国語の ü と同じ。口を丸く尖らせて「い」と発音する。
	i	[i]	日本語の「い」と同じ。

注意したいのは、ø と u と y の発音である。

ø は日本語の標準語にはない発音であるが、名古屋弁の「どえりゃあ」の「おえ」と同じ発音である。

u は日本語の標準語のような「口を横に開く『う』」ではなく、関西弁の「う」のように口を尖らせて突き出すように発音する。

y は口を丸く尖らせて「い」と発音する。「ヤ行の子音」ではないので注意したい。カタカナで表せば「ユイ」という感じである。yau は「ヤウ」ではなく「ユィアウ」である。

音節

音節は「頭子音+母音+末子音」または「頭子音+母音」の形である。頭子音の部分を声母、それ以外の部分を韻母と呼ぶ。

韻母は、「介音+核+韻尾」の形で構成される。介音になることができるのは狭母音(u, y, i の 3 種類の母音)だけである。核になることができるのは広・中母音(a, e, o, ø の 4 種類の母音)だけである。韻尾になることができるのは、狭母音(u, y, i の 3 種類の母音)に加えて t, k, n, ^ の 4 種の子音である。

介音・核・韻尾は必ずしも揃っているとは限らない。介音か核の少なくとも一方があれば韻尾は成立する。例えば、「a」という韻母は核だけがあって、介音も韻尾もない。「i」という韻母は介音だけがあって、核と韻尾がない。

しかし、「介音が 2 つある」とか「核が 2 つある」という韻母は存在しえない。それゆえ「uia」や「ae」という韻母は存在しない。

なお、子音で終わる音節の直後に母音で始まる音節の音節が現れたときに連音となることはない。(母音で始まる音節の頭には、声門閉鎖音が自然に入る。)

声調

千織語は声調言語である。調値は 6 種類ある。

表 4 千織語の声調

番号	声調名	音価(IPA)	発音上の注意事項
1	高平板	[ɿ]	高く平坦に発音する。北京語の 1 声(陰平)に似ている。
2	低平板	[ɿ]	低く平坦に発音する。広東語の 6 声(陽去声)に似ている。
3	上昇	[ʌ]	低いところから上がるように発音する。北京語の 2 声(陽平)に似ている。
4	下降	[ʌ]	高いところから降りるように発音する。北京語の 4 声(去声)に似ている。
5	高詰	[ɿ]	高く、内破音([t̪][k̪]のいずれか)を伴い、短く切って発音する。調値は 1 声に近い。広東語の 7 声(上陰入声)に似ている。
6	低詰	[ɿ]	低く、内破音([t̪][k̪]のいずれか)を伴い、短く切って発音する。調値は 2 声に近い。広東語の 9 声(陽入声)に似ている。

1 声と 5 声・2 声と 6 声は、それぞれ調値は似ている。しかし、5 声・6 声は必ず音節末に内破音を伴っている。逆に、音節末に内破音を伴った音節は、必ず 5 声・6 声のどちらかになる。

2 声は、低い平板であり、北京語の 3 声(上声)とは異なる。

千織語は、中国語と同様に、声調が変わると意味が全く違ってしまう。例えば、𠃉 [maɪɿ] (まい) は「網」の意味だが、𠃉 [maɪʌ] (まい) は「絵」の意味である。なお、文字それぞれに固有の声調があるため、複合語(2 字以上の熟語)となっても、声調は変わらない。

基礎的な単語

人称代名詞

1 人称(私) … 𠄎 ^a1

2 人称(あなた) … 𠄎 nat5

3 人称(彼・彼女) … 𠄎 tan1 ※男女の区別はない。

数字

十進法である。

0 … 𠄎 pio2 / 1 … 一 fuk5 / 2 … 二 uak5 / 3 … 三 sien1 / 4 … 𠄎 pen3 / 5 … 𠄎 mie4

6 … * yn3 / 7 … 𠄎 khot5 / 8 … 𠄎 ie1 / 9 … 𠄎 toi3

10 … + hi2 / 11 … +- hi2 fuk5 / 12 … 十二 hi2 uak5 / 20 … 二十 … uak5 hi2

100 … 𠄎 ut1 / 101 … 𠄎- ut1 fuk5 / 125 … 𠄎二十大 ut1 uak5 hi2 mie4 / 300 … 三𠄎 sien1 ut1

1000 … * txio1 / 10000 … 𠄎 mou1

文法と品詞

語順は SVO である。動詞も形容詞も V となり得る。

(例文)

𠄎 𠄎 𠄎 ^a1 mot5 𠄎m1 「私は弓を持っている」 <語注> 𠄎 「持っている」 𠄎 「弓」

繫辞(コブラ)は省略可能。主語の直後に名詞を置けばよい。

(例文)

𠄎 𠄎 𠄎 ^a1 sat2 i𠄎3 「私はサツイエである」 <注> 𠄎 sat2 は任にある苗字の1つ。𠄎 i𠄎3 は下の名前。

基本的に単語は語形変化しない。動詞に過去形などはないので、時制は時間を表す語句を用いて示す。場所や時間を表す修飾語句は、目的語よりも後に置く。多くの場合は場所を先に、時間を後に書く。しかし、場所や時間を強調したい場合、主語の前に持ってくるができる。

(例文)

𠄎 𠄎 𠄎 ^a1 op4 mi1 i4 kho4 「私は今、海へ向かっている」 <注> 𠄎 「向かう」

𠄎 𠄎 * 𠄎 op4 yau4 thia^3 khau1 「前に向かって通行止めである(=前方の道は通行止めである)」

「𠄎 𠄎 * 𠄎」は場所を表す修飾語句を強調するために前に持ってきたものである。

単語が語形変化しない代わりに、名詞になったり、動詞になったり、形容詞になったり、前置詞になったり、様々な品詞に化ける。例えば、先程の 𠄎 op4 は、「向かう」「行く」という動詞(つまり英語の go の意味)になることもできるし、「～へ」という前置詞(つまり英語の to の意味)になることもあり得る。さらに言えば「向かうこと」「行くこと」という動名詞の意味にもなり得る。

否定文は、動詞の直前に 𠄎 ^𠄎4 を置く。

(例文)

𠄎 * 𠄎 pi2 thia^4 ly4 ^𠄎4 thia^4 「目は閉じるが、瞳は閉じない」 <注> 𠄎 「目」 𠄎 「瞳」

固有名詞

地名

千織語が話される地域は、𑜉𑜃𑜫 txio3 という国である。国名であることを明示するために、𑜉𑜃𑜫 txio3 pen2 とも称する。また、別名として 𑜉𑜃𑜫 txio1 et1 という呼び方もある。例えて言うなら、𑜉𑜃𑜫 は「漢」、𑜉𑜃𑜫 txio1 et1 は「中華」のようなものだろう。

𑜉𑜃𑜫 の地名は、多くが 2 音節、つまり 2 字である。稀に 1 音節や 3 音節の地名も見られる。

(例) 𑜉𑜃𑜫 ua1 thak5

外国の地名は、音訳せずに意識する場合もある。

𑜉𑜃𑜫 の地名を日本語表記するときは、カタカナで音訳しても良いが、漢字意識も可能である。先の「𑜉𑜃𑜫」であれば、「ウアタク」と音訳する以外に「横山」と意識する方法がある。

人名

姓に相当する部分と名に相当する部分がある。姓は多くが 1 音節、名は 1 音節・2 音節ともに多く見られる。

千織名

外国人は、自らの名前の意味を考えて「千織名」を自ら名付けたり、あるいは他人に名付けて貰ったりすることがある。その場合も、姓に相当する部分と名に相当する部分を持つ。意味を考えて名付けるので、名前だけを見ても外国人的な雰囲気は感じにくいかもしれない。

筆者の千織名は「𑜉𑜃𑜫 sat2 iø3」である。